

事業報告あれこれ

ファミリー・コミュニケーション・フェスティバル

5月28日(土)・29日(日)、家の鼻パーク(横浜市)でファミリー・コミュニケーション・フェスティバルが開催されました。当日は順番待ちになるほど多くの親子が来場し、皿回しやラダーゲッター、リングキャッチなどに夢中になって楽しんでいました。子どもたちは上手くできなくても諦めずに何度もチャレンジし、成功した時には満面の笑みで飛び跳ねるくらい本気で喜んでいました。また、お父さんやお母さんも遊んでいるうちに徐々に真剣になり、まるで無邪気な子どものようにでした。親子でお互いに教え合ったり、一緒にハイタッチを交わしたり、微笑ましい光景がたくさん見られました。親子の絆がさらに深まる2日間になったことと思います。



第1回県レク総会



5月28日(土)県立スポーツ会館2階会議室で県レク総会が開催されました。午後1時からミニ講演会が行われ、「健康な膝・腰で身体も心も元気UP!!!」をテーマに佐藤毅さん(十日市場医院診療部長・天命堂整骨院代表)が講演されました。「健康は休養、栄養、運動が基本。睡眠時間が大切な事と、緩やかなストレッチで股関節や足首を暖めましょう。」と語りかけ、参加者の方々も頷いていました。2部の総会では平成27年度事業報告・活動計算書・監査結果が承認され、平成28・29年度役員体制・専門委員会構成・事業計画も承認され、終了いたしました。

レクスクール

5月29日(日)かながわレクスクールの開講式が行われ、橘高理事長、土屋委員長の挨拶から始まりました。8名の受講生は皆女性です。第1回目であり緊張した面持ちでしたが、時折挟まれる



関係者の方に深く敬意と感謝を

スコレ発行
100号に
寄せて

神奈川県レクリエーション協会顧問(前会長) 佐藤 誠治



スコレ発行おめでとう御座います。NPO法人神奈川県レクリエーション協会の広報紙スコレが100号を迎えました。これまで多くの編集委員によって発行され、多くの会員の情報提供協力により会員の情報交流の機関紙として、役目を果たして来しました。今年度の編集委員はじめ今までに関わった方々に深く敬意と感謝を申し上げます。

さて、南米初の五輪の開会式が終了しました。競技も始まり100号がお手元に届くころは競技も終了し日本選手の活躍が話題になり、東京五輪準備に拍車がかかることと思います。とりわけ、神奈川県五輪選手の活躍を期待しています。ただ、私は38年前(昭和54年)にブラジルのリオデジャネイロに行ったことがあります。治安の悪さだけが脳裏から離れません。開会式もトラブルなく終了したようですが、どこからともなく出てきたスラム街の少年が観光客のショルダーバッグを取って山に逃げていくのを目の当たりにしました。スラム街の人々は今回のオリンピックは稼ぎ時であり、選手や多くの観光客が被害にあわなければ良いかと老婆心ながら心配しています。リオ五輪が決定した2009年には経済状況もよくなり治安も良くなると思われました。五輪を目前にして警察官や軍隊を投入して治安改善に努めているようですが……。一方、ロシア選手のドーピング問題での不参加、ジカ熱が心配で不参加の選手など課題が残された中、難民選手団の参加は印象的でした。

ところで、いまや超高齢化社会を迎え健康寿命が叫ばれていますが、健康寿命とは、「きょういく」と「きょうよう」である。つまり、『きょういく=今日、行くところがある』、『きょうよう=今日、用事がある』、ということで、行くところや用があることは良い事であり、レク活動に多く関わる事を期待しています。

(平成28年8月12日)

チャレンジ・ザ・ゲーム

6月25日(土)、チャレンジ・ザ・ゲーム2016インかながわの体験会が開催され、梅雨空を跳ね返す華やいだ歓声で会場が満ちました。ゲームに笑顔が垣間見えました。また、レクスクール内では公開講座も行っており、全8回午後のみ受けられます。受講料は1,000円です。まだまだ募集中ですので、この機会にぜひご参加下さい。

声スポーツ会館に響きました。この日の午後には、ゴム・ダンス10の二種目が行われました。ゴム・ダンス、ステップは、足さばき物を言うようです。いかに速くゴムを踏ぎ、足にかけられるかがコツのようで、見ただけで跳べたり、足にゴムがからまったりと様々でした。記録中は皆真剣に数え、諦めることなくチャレンジしていました。むかでタイムレース10では、息の合った掛け声が印象的でした。曲がり角で



教員免許状更新講習会

スピードを落とさず、みんなで進むのはなかなか至難の技ですが、転んでも笑顔で楽しそうでした。初参加の方が多く、一日を通していつの間にか運動をした！なんて気付いたのではないのでしょうか。チャレンジ・ザ・ゲームは、まだまだたくさんあります。興味のある方は是非、調べてみてください！

8月22日(月)～24日(水)の3日間に渡り、当協会の岸正晴 副会長・井上桂 副理事長・土屋勝 指導者養成委員長が講師を務め、教員免許状更新講習会(会場：川崎マリエン)が開催されました。様々な学校から多くの教員が集まり、レクリエーション(以下、レク)の意義について理解を深めながら、ゲームを多数体験していただきました。最初は緊張した面持ちでしたが、アイスブレーキングを通じて自然と会話が生まれるような雰囲気になってい

寒川町レクリエーションフェスティバル

9月4日(日)に寒川町総合体育館及び運動場で寒川町レクリエーションフェスティバルが、雨も上がり盛大に開催されました。県レク事業委員会からは「ニュースポーツ」紹介で3種目(皿回し、ラダーゲッター、ネットパスラリー)を実施しました。

午前10時から午後2時の間に寒川町民の方々延べ約120名が参加してくれました。皆さんからは「楽しいスポーツです」と評価を頂きましたが、特に「皿回し」に人気が集中し、皿回しを完全にマスターしたお子さんが母親に「これ欲しい」とおねだりしていました。

平成28年度かながわスポーツ・レクリエーション大会

9月18日(日)海老名運動公園で2016 かながわスポーツレクリエーション大会が開催されました。台風16号の影響が懸念され、一部の競技が中止となりましたが、24団体のイベントが行われ、2,500名以上の参加者が集う大会となりました。

小雨が降ったり止んだりのあいにくの天候でも、グラウンドでは今回初参加、第一生命女子陸上部のみなさんによる「走り方教室」が親子連れの方々で大

盛況。その隣では「タッチラグビー」の子供たちの歓声が上がっていました。総合体育館では「ラダーゲッター」「スポーツ吹矢」等の競技の他、「ダンス」や「民謡」、「フラフトコーナー」が行われました。神奈川県レクリエーション協会と海老名市レクリエーション協会が手を組んで開催した今大会、雨という負の要因はありましたが、楽しめる大会になったと思います。来年も同じく海老名運動公園での開催が予定されています。さらに多くの方々の参加で盛上がりた

神奈川県から3名の方に功労賞 —第70回全国レクリエーション大会 in 岐阜—

9月23日から25日に開催された「第70回全国レクリエーション大会 in 岐阜」の初日に行われた「平成28年度レクリエーション運動普及振興功労者表彰」で神奈川県から3名の方が受賞されました。お名前は逗子市レクリエーション協会の伊藤 昂さん、藤沢市レクリエーション協会の川口知恵子さん、神奈川県レクリエーション協会の松岡民生さんです。大変おめでとうございます。



伊藤 昂さん



川口知恵子さん



松岡民生さん

佐藤誠治現顧問に文部科学大臣から 生涯スポーツ功労者表彰

長年神奈川県レクリエーション協会に貢献されて来た佐藤顧問に、10月7日に文科省から生涯スポーツ功労者表彰が授与されます。今年4月に10年間務めた県レク会長職(県協会理事・アドバイザーは平成8年から)を退任し、現在は顧問として県レクの事業に関わって頂いています。受賞おめでとうございます。



スコレ1号

●平成元年6月15日発行

●創刊号B5サイズ

会員委員会発行・会員への発行部数は三百三十一部。巻頭は時評「第二回スポレク祭とこれからのレク」県レク連会長植村恭作氏 県レク事業予定ほか

スコレ10号

●平成3年10月15日発行

巻頭は時評「全国レク研大会に参加して」理事長篠崎明弘氏 1面写真は新潟大会、佐渡おけさ 県レクフェスティバル・ニューチャレンジザゲーム講習会ほか

スコレ20号

●平成6年4月15日発行

巻頭は時評「生涯スポーツとレクリエーション」理事長篠崎明弘氏 1面写真は新年賀詞交歓会の模様 第10回会員研修会（余暇生活支援―レジャーレク・カウンセリング）

スコレ30号

●平成8年12月1日発行

巻頭写真は第50回全国レク愛知大会 総裁表彰 坂野公信氏 レクサミット宣言 日レク表彰・篠崎明弘氏・池端正直氏・波多野良子氏

スコレ40号

●平成11年10月20日発行

巻頭写真は夏山登山 第53回全レクリエーション大会 奈良開催 私とレクとの出会い 日レク表彰・相川健氏・高橋慎一氏・飛田奈加子氏

スコレ100号のあゆみ

スコレ50号

●平成15年1月15日発行

巻頭は「新年のご挨拶」会長三枝忠一氏 故鴻池宗男前会長を偲んで ネットワーク話と輪 文部科学大臣表彰・加藤妃生子氏 日レク表彰・倉橋則康氏・鈴木司氏・渡邊一善氏

スコレ60号

●平成17年6月5日発行

巻頭は「ごあいさつ」理事長若木一美氏 事業計画 古都鎌倉散策 知つてると得する話 2ニュースポーツ紹介 課程認定校だより 始めましょう 3033

スコレ70号

●平成20年1月1日発行

巻頭は「年豊人衆」会長佐藤誠治氏 第61回全国レクリエーション協会inかながわ 文部科学大臣表彰・岸正晴氏 日レク表彰・青木美枝子氏 磯隆司氏 蛸山優二氏

スコレ80号

●平成22年7月1日発行

巻頭はかながわスポーツレクリエーション大会 専門委員会紹介 ザ・団体ネットワーク てくてく散歩

スコレ90号

●平成25年6月1日発行

かながわレクスクール開講 ペーパークラフト「張り子のカミ虎」 てくてく散歩



100号
記念

広報誌スコレ1号～100号までには、たくさんの記事がありました。
その中より3点を掲載致します。

上段は記念すべき第1号の第1面を飾った「時評」です。

つづいて中段は第39号の第1面、川遊びの子ども写真の下段に掲載されました。
そして下段「幸せな・・・」は第74号に掲載されました。

時 評

第二回スポレク祭と
これからのレク

県レク連会長 植村恭作

第二回のスポレク祭が愛媛で開催され、数年後まで開催が予定されている。思えば四十二年間も続き愛媛で開かれたレク大会が、あつたなく幕を閉じ、北の函館に消え果てた。それにとつて替ったスポレク祭は、まさに国家的規模の様相で、国体並の大イベントとして、数万人の人を集めて新生した。従来のレク大会から、レクスポートの若干が残っただけで、三種の神器として大会の根幹をなしてきたものは、跡形もなく消された。この大変様を素直に受けとめ、深刻に考え対応しなければならぬ。いま多くの国民が求めているレクはスポーツなのだから、われわれがそのニーズに対応して方向転換しなければ、時流に乗りおくれる。従来通りのレク活動を、後生大事に守っていたのでは、社会的な欲求から縁遠くなり、刺身のつま的存在になり、社会的な認知も得られず、誤解もとけない。

この際心機一転、公民権を獲得するよう、レク界の体質を改善し、大転換をはかるうではないか。

スコレの語源

「スコレ」とは、西洋哲学史の中で、スコラ派の学者という言葉が出て来ますが、大儒派などと訳され「遊ぶ」ということを理想とするとあります。

この語源がラテン語でスコレ「暇」という意味です。

英語で学校のことをスクールといいますが、この語源もスコレです。

遊びの本質

遊びは、生きるための日常生活と対置されるものです。

日常生活が束縛され、生産的であり、目的をもったものであるのに対して、遊びは自由で非生産的で目的をもたない。

この実世界に対する虚の世界としての遊びは、日常の世界から切り離された時間と空間の中で確保されます。

競争的な遊びのように個人の能力差を完全に認めるか、逆に、偶然や運に基づく遊びのように能力差を否定するか、いずれにせよ実社会にはない絶対的な平等条件がルールとして確立されていることが遊びの特徴です。

遊びという虚構の世界で自らを何かの象徴物と化し、ただの棒切れを名刀に化してしまう。これは人間の象徴的行動能力なくしてはなしえない。

幸せな身体を作る3分体操

監修 橋高 靖子

朝めし前 肩甲骨下辺付近の脊柱起立筋

- ①うつ伏せになり、重ねた手の上に額を置く
- ②一度膝を軽く揃え、力を抜く
- ③踵を臀部方向に、ゆっくり凡そ直角まで膝から下を折り曲げる
- ④ゆっくり元に戻し、頑張らないで交互に、片側5～10回



ちょうだい腹筋 みぞおち付近の感覚

- ①椅子に浅く掛け、膝・足首はほぼ直角に曲げる
- ②背もたせに寄りかかり、軽く頭を引く
- ③拳を上にも胸横から腕を前に伸ばしながら「ちょうだい! ちょうだい!」
- ④5～10回



(平成元年6月15日発行)

(平成11年7月15日発行)

(平成21年1月1日発行)

スコレ

誕生秘話

歴代広報委員会委員長による座談会



岸氏

司会進行は県レク協会副会長岸正晴さん、出席者は平成3年度委員長藤野和子さん、平成8年度の若木美さん、平成10年度の小泉八重子さん、平成14年度、19年度の磯隆司さん、平成20年度、26年度の笹野隆さん、平成26度からの松岡民生さんの6名です。

岸

「座談会にお集まりくださり、有難う御座います。創刊は平成元年6月15日、28年前になりますね。当時は藤野和子さん、井上桂さんがメンバーでした。継続は力なりと言いますが、会員の為の広報紙が脈々と繋がって今日に至っています。藤野さんから創刊当時のお話を聞かせてください。」

藤野

「会員委員会委員長池端さんが、(スコレ)という名前を提案され、編集委員を先導してしっかりと紙面が出来ました。」

岸

「スコレ以前は(県レクだより)という名前、不定期発行でしたね。」

藤野

「スコレ創刊あたりから系統だった編集を行いました。最初は会員委員会から始まりまして。」

岸

「スコレ39号にスコレの意味が載っていますね。ラテン語の遊び、



藤野氏

学校と2つの意味が有り、スコールの語源とか。」

笹野

「スコレというネーミングは他からクレームは有りませんでした?」

藤野

「あちこちで使われていたが、特に有りませんでした。」

若木

「広報委員の経験もなく、池端さんから誘われ、いきなり広報委員長をやらされました。編集会議は地の利が良し私の事務所(大船)でやっていました。」



若木氏

岸

「若木さんには後で理事長としてのかわりもお伺いします。では小泉さん!」

小泉

「井上委員長と18号から参加しました。4名の広報委員で毎回大和の福祉センターで千二百部を3時間かけて発送し、その後の寿司屋さんが楽しみでした。」

藤野

「発送は創刊当時から行っていましたよ。」

小泉

「切手を貼るのもだんだん上手になり、わずか4名でしたが、手順もよかったです。記事を書くにも井上さんに指導して頂き、すごく勉強になりました。平成10年からは広報委員長になり、40周年記念に地域記者を採用し、身近な楽しい出来事を原稿で送ってもらい、時には記者も集まって広報を作りました。サブタイトルに(心豊かに遊びをあそぶ)をつけました。編集は楽しかったです。」

岸

「56号から現在のサブタイトルに

なっていますね。」

若木

「実はその言葉、いつも僕が挨拶に使っていた言葉でした。」

一同

「ほー。」

笹野

「私も18号から小泉さんたちと活動し、大和の保健福祉センターで発送作業をしたのが懐かし、鮮明に覚えています。皆でアイデアを出し合い、井上さんが文章校正をまとめ、その後寿司屋さんに行く等、楽しい思い出が沢山あります。広報は仕事も遊びも大切にしていました。」

小泉

「スコレ41号の表紙に親の許可をもらい、生きとし生けるものの顔写真を載せたりしました。」

小泉氏

岸

「専門部会から広報委員会に代わり、また21号からA4サイズになりましたね?」

藤野

「世の中がBからAサイズに変わっていきまして。」

松岡

「スコレもカラー刷りになりましたね。」

若木

「50号の磯さんからカラーになりましたね。」

磯

「私がやめてもつ10年も経っているのです。私はメンバーに恵まれて楽しかったです。会議の度に係りの方がタイムサービスで安くなっているお弁当を探して買ってきてくれました。遅れて参加した人もお弁当だけ食べに来た様な事でも、集まるのが楽しかったです。」

岸

「横浜で会議をしたの?」

磯

「県サポーターセンターでやりました。当時のメンバーとはいまだに交流しています。記事で気を使ったのは名前と役職を間違えないこと。校正は若木さんにやって頂きました。印刷屋の間違いが多く、印刷屋を変更しました。他には、スコレ題字のバックのカラーで悩みました。」

藤野

「カラーにするという問題がある。私の時は無かった。」

磯

「色で悩むのは楽しかったですよ。また元日にスコレが届くように、みんなで三百通とか分けて持ち帰り大晦日近くにポストに入れました。」

一同

「あという間に制約で障がい者大会の優勝者を写真で載せられないこともあり、残念な思いもしました。皆さん、後書きに名前か、ペンネームを入れましたか?」

藤野

「池端時代はあとがきに名前を載せなかったですね。」

磯

「私の時には後書きには名前を載せることにしました。責任ややりがいを感じていました。編集会議は人生そのものという感じでした。」

岸

「ありがたございました。この時期56号からスコレの副題で(心豊かに)から、(やってよかった)に変わりましたね。」

若木

「やってよかったレク活動・学んでよかったレク運動・持つてよかったこの仲間、という言葉は挨拶の

6

磯岸

「広報委員長の終わり頃IT委員会が」

磯

「その時に現理事長の橘高さんが(黒は色のベースだから、これからいろいろな色に変わっていくということ、いいのよ。)といわれた言葉が忘れられません。」

藤野

「今見ると、大丈夫な気がしますが...」(当時のスコレを見ながら)



磯

「あと、色の指定でスコレ題字のバックのカラーを印刷屋が間違え、一面黒になってしまったことがありました。」

小泉

「印刷屋さんに渡すときはドキドキしますよ。」

磯

「私もあります。名称を入れ違えて出してしまいました。」

岸

「先程の磯さんの発言で、気を使ったことですね。」

笹野

「そうですね一面の原稿で理事会と理事を間違えて載せてしまった苦しい出が有ります。」

岸

「みなさん、ご苦労が有っても時間を経ることで美化されていることもあるかと思いますが、是非苦労話もお聞かせください。」

小泉

「同感ですね。」

「私もいきなり理事・広報委員会に任命され、何を企画してよいか分からない状態で始めました。何号か発行を経験していく中で、広報の役割を理解し、県レクと会員の皆様や地域の方々の活動を紹介する事に力を入れています。」

藤野

「いい言葉ですね。レクリエーションは活動であり、社会活動から人間関係へとすべてが濃縮された良言葉だと思います。」

時に僕がよく使っていて、磯さんから使っていると言われて...」

磯

「全国レク大会の時、相模原でレクソングを歌おうとバスツアーを計画したことが有りますが、色々あって不採用になったことがあり

小泉

「高齡化社会です。遊びも大切だから、県レクで(ポートクルーズ、みなで行こうね。)という企画をし、広報で宣伝をするのはどうかしら。」

磯氏

「僕が広報紙を作っていたときは、(てくてく散歩)等の遊びの記事を載せ、読んでもらってクスクスと笑える紙面を目指しました。後はネットをつまく使うことで、日レクの広報誌配布時期と県レクイベント周知とのマッチングを、ネットですぐ活用できると良いのではないうか。遊びながら作りましようというスタンスが大事。」

岸

「やることは沢山あるでしょうが、今度黒ではなく、白でやったらいいか?」

磯

「僕が広報紙を作っていたときは、(てくてく散歩)等の遊びの記事を載せ、読んでもらってクスクスと笑える紙面を目指しました。後はネットをつまく使うことで、日レクの広報誌配布時期と県レクイベント周知とのマッチングを、ネットですぐ活用できると良いのではないうか。遊びながら作りましようというスタンスが大事。」

岸

「僕が広報紙を作っていたときは、(てくてく散歩)等の遊びの記事を載せ、読んでもらってクスクスと笑える紙面を目指しました。後はネットをつまく使うことで、日レクの広報誌配布時期と県レクイベント周知とのマッチングを、ネットですぐ活用できると良いのではないうか。遊びながら作りましようというスタンスが大事。」

岸

「僕が広報紙を作っていたときは、(てくてく散歩)等の遊びの記事を載せ、読んでもらってクスクスと笑える紙面を目指しました。後はネットをつまく使うことで、日レクの広報誌配布時期と県レクイベント周知とのマッチングを、ネットですぐ活用できると良いのではないうか。遊びながら作りましようというスタンスが大事。」

岸

「僕が広報紙を作っていたときは、(てくてく散歩)等の遊びの記事を載せ、読んでもらってクスクスと笑える紙面を目指しました。後はネットをつまく使うことで、日レクの広報誌配布時期と県レクイベント周知とのマッチングを、ネットですぐ活用できると良いのではないうか。遊びながら作りましようというスタンスが大事。」

磯

「僕が広報紙を作っていたときは、(てくてく散歩)等の遊びの記事を載せ、読んでもらってクスクスと笑える紙面を目指しました。後はネットをつまく使うことで、日レクの広報誌配布時期と県レクイベント周知とのマッチングを、ネットですぐ活用できると良いのではないうか。遊びながら作りましようというスタンスが大事。」

岸

「僕が広報紙を作っていたときは、(てくてく散歩)等の遊びの記事を載せ、読んでもらってクスクスと笑える紙面を目指しました。後はネットをつまく使うことで、日レクの広報誌配布時期と県レクイベント周知とのマッチングを、ネットですぐ活用できると良いのではないうか。遊びながら作りましようというスタンスが大事。」

若木

「(当時理事長として)いつも苦情処理したほです(笑)」

岸

「では、ここで100号に向けてご意見を伺えればと思います。」

松岡

「現在ではホームページも広報委員会の大切な仕事になっていきます。」

笹野

「QRコードは当時僕が作りました。」



笹野氏

岸

「旅行業がらみのことをやるという難しいことも出てくるね。」

小泉

「八十になっても町おこし事業などいくつになっても楽しいことはできる。紙面を見てワクワクするものができれば、良いですね。」

若木

「広報紙の内容が50号から内向き(会員向け)から外向き(一般市民へ変換していった。今後レクコディネーターも高齢化していく中で、多くの人の意見を吸い上げて羅針盤という方向性を見出してほしいのでは。」

磯

「そうですね、一面にアナウンサーの方の記事を載せたことが有り、良い刺激になりました。」

藤野

「大勢の方に周知していける方向性があるとういことです。」

岸

「このままでよいですけど、縦書きや横書きが有って読みにくいと思います。」

磯

「相模原広報誌は市内全公民館においてもらっていますが、結構持っています。県レクも公共施設などに部数を用意してもらえると良いです。お金が有ればですが...」

岸

「スコレの副題を変えたいという案は?」

藤野

「このままでいいと思います。」

松岡

「本日は有難う御座いました。」

「レクリエーション情報紙100号は歴史の節として、これからも新たな気持ちで続けていき、より楽しい紙面になるよう工夫したいと思えます。皆様、本日は有難う御座いました。」



松岡氏



力と自信がつく教育で
「考え、行動する人材」を
育成します。

■工学部

機械工学科(航空宇宙学専攻含む)
電気電子情報工学科
応用化学科
臨床工学科

■創造工学部

自動車システム開発工学科
ロボット・メカトロニクス学科
ホームエレクトロニクス開発学科

■応用バイオ科学部

応用バイオ科学科
栄養生命科学科[管理栄養士養成課程]

■情報学部

情報工学科
情報ネットワーク・コミュニケーション学科
情報メディア学科

■看護学部

看護学科

神奈川工科大学
KANAGAWA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030 TEL 046-291-3002
E-mail kikaku@kait.jp URL http://www.kait.jp/

追跡!

あの人

今

レクインストラクター資格を
取得した方の、各地域での活
躍をシリーズで追跡します。

私の「レクリエーション」

新戸信之さん（1987年取得）



「レクリエーション」という概念に初めて触れたのは、大学に入学した30年前です。

『レクリエーション研究会』という上下に厳しい超体育会系のサークルで、ゲーム・ソング・ダンスをはじめ、キャンプ技術、ニユースポーツなど、様々な場面での指導方法を叩き込まれました。日頃のトレーニングの成果は、小中学校、保健所、日レク協会などのイベント時に、子どもたちを中心とする参加者の、純粋で、時には残酷とも思える行動により評価されます。今で言うところのO・J・T（オン・ザ・ジョブ・トレーニング）で、凹むことも多々ありましたが、成功体験は自信に繋がりました。

そんな経験もあり、大学卒業と同時に「レクリエーションのプロ」として会社を設立しました。プロである以上、失敗は許されません。常に気を配り、目を配り、神経をすり減らしながら、全力で参加者を楽しませます。高熱があっても、嫌なことがあっても、満面の笑顔で明るく話します。

学生時代から私にとつての「レクリエーション」には常に緊張が伴っていましたが、それから20年余りの間、「レクリエーション」に関わっていない時間が私にとつての余暇だったので、休日や休憩時間に遊ぶことはあまりありませんでした。

現在は自分の会社を休眠させ、印刷会社の経営をしながら「セミプロ」として、幼児教育の研究所と短大で講師をしています。

プロ時代には書き入れ時だった週末や大型連休に、自分の好きなことをして心身の「つくり直し」をしています。

年に一度招かれるキャンプ実習では、休憩時間に遊びを見つけて学生を巻き込みます。学生たちは予定されているプロ

グラムよりもおもしろがってくれます。もちろん、私自身も本気で楽しんでいます。もしかしたら、今が一番「レクリエーション」を学べているのかもしれない。

レクリエーションと私



比留川正子さん（2000年修了）

レクスクールを受講したのは、2000年でした。

当時仕事柄、人前で話しをする機会が多く、緊張した雰囲気になくすにはどうしたらよいか悩んでいました。

ある講習会で講師の方が、ゲームを取り入れて場を盛り上げていました。

とても楽しく受講でき、それがきっかけでレクリエーションに興味をもつようになりました。

受講後はアイスブレーキングをしたり、話しの内容をゲーム化し分かりやすいように話しをすることができるようになりました。

一番楽しくなったのは私自身です。

受講した仲間4人と現在「ブルルンフルーツ」というレクグループ名で活動しています。結成16年目です。

公共施設主催の主に小学生を対象とした遊びの場で、クラブやゲームを紹介し一緒に楽しく遊んでいます。

退職してからは、地域の方々とふれあう機会が増えました。高齢者憩いの家やファミリーサポートセンターから、ゲームを依頼される事もあります。

今後はレクリエーションを通し、地域の方々と交流の輪を広げていきたいと願っています。

そのためには、元気が一番!

受講しただけではわからない。実践することでレクリエーションが楽しくなりました。

崎陽軒本店 同窓会プラン

個室・宴会場で、同窓会・クラス会・OB会に3時間ゆったりご利用いただけるプランです。

Aプラン

平日の昼食限定

7,000円

(税・サ・資料込)

フリードリンク付

Bプラン

平日の昼食

土・日・祝日の終日限定

6,200円

(税・サ・資料込)

ワンドリンク付

or



崎陽軒本店

〒220-0011 横浜市西区高島2-13-12
E-mail: enkai@kiyoken.co.jp
URL: http://www.kiyoken.com/

※お部屋は3時間までご利用いただけます。4名様より承ります。
※中国料理コースまたはイタリア料理コースをお選びください。

ご予約・お問い合わせ ☎ 045-441-8880

信じよう。スポーツの力を。



FOR ALL SPORTS OF JAPAN

toto や BIG の収益は、日本のあらゆる
スポーツに役立てられています。

生涯スポーツ紹介

ラダーゲッター編

皆さま、この画像を見てなんだかお判りでしょうか？

ニユースポーツのラダーゲッターです。

日本レクリエーション協会が親子三世代にわたって家族で楽しめるレクリエーションとして開発したのが発端です。

そもそもニユースポーツとは、20世紀後半以降に新しく考案・紹介されたスポーツで、その数は数十種類に及びます。一般に、勝敗にこだわらずレクリエーションの一環として気軽に楽しむことを主体とした運動です。中には伝統的な民族スポーツを世界に発信したりと歴史は様々です。

そしてニユースポーツのもう一つの顔は、「生涯スポーツ」としての役割です。

「だれもが、いつでも、どこでも気軽に参加できる」をスローガンに生涯を通じて、健康保持・増進を目的としています。生涯スポーツは競技スポーツよりも運動強度が低く、体力に過剰な負荷をかけなくても行えるのが特徴です。また、日本レク



リエーション協会をはじめとする関連団体は、生涯スポーツの普及・啓発とその指導者育成に関する事業を行っています。

様々な年代で交流しあえるニユースポーツ、種類が豊富なだけにどれを行ってみようかと迷うのも楽しみの一つです。

さて、話は戻りますが、ラダーゲッターとはどのようなニユースポーツであるか紹介したいと思います。

ヒモでつながっている2個のボールをラダー（ハシゴ）に向かって投げ、ボールがラダーに引っかかるとポイントが入ります。3本のラダーには1、2、3点とポイントが表示されており、それぞれのラダーに引っかかったボールの数で得点を競います。また、床にボールがバウンドし、引っかかると5点になります。対抗戦の場合、21点先にとったほうが勝ちとなります。

投げ方は、片方のボールを手に持ち、もう片方のボールを下に垂らし、てゆつくり前後にスイングし、ボールが後方回転しながら飛んでいくように、アンダーハンドで投げます。

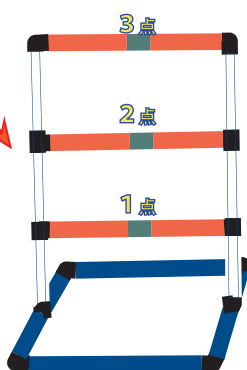
屋内・屋外を問わず楽しめ、基本的なルール以外にも用具を使って新たにゲームを考案される方もたくさんいます。

神奈川県レクリエーション協会では、スポーツ・レクリエーション大会を行い、様々なニユースポーツが体験できるイベントも毎年開催しております。

一人でも多くの方が、ラダーゲッターに興味を持っていただけたまうに！

◆基本的なプレーの楽しみ方

- プレーヤーまたはチームは同じ色のボールを3つ用意します。
- プレーヤーは、ファールラインの後ろから7.5m離れたところのゴールラダーに向かってボールを投げます。
- ボールがうまくゴールラダーにひっかかればポイントを得られます。
- ボールが落ちてしまったり、他のプレーヤーによつてはじかれてしまった場合はポイントが入りません。



◆得点

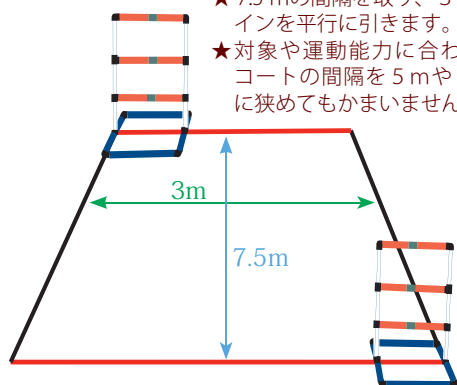
- 一番上のラダーにボールがひっかかる…3点
- 真ん中のラダーにボールがひっかかる…2点
- 一番下のラダーにボールがひっかかる…1点
- 地面にバウンドしていずれかのラダーにボールがひっかかる…5点

◆勝敗

- 21点先取した方が勝ちとなります。ただし、ピタリ21点で終わ

【基本コート】

- ★ 7.5 mの間隔を取り、3 mのラインを平行に引きます。
- ★ 対象や運動能力に合わせて、コートの間隔を5 mや3 m等に狭めてもかまいません。



- 知らないといけません。例えば、19点取っている状態で次のラウンドで4点取ってしまったら合計23点。その得点は無効となり、次のラウンドをまた19点から始めなくてはなりません。もしプレーヤーが21点以上取ってボールが残っている場合、残りのボールは投げません。
- また、先攻チームが21点先に取った場合、後攻チームは残ったボールで相手のボールをはじき飛ばすことに挑戦できます。もし決勝点（21点ボール）をはじき飛ばせば、再度21点をどちらかが獲得するまでゲームは続きます。失敗すればゲーム終了となります。

- さらに、先攻／後攻が同時に21点獲得した場合、（サドンデスプレーオフ）Ⅱ各プレーヤーが1ラウンド行い、高い点を取ったプレーヤーまたはチームの勝利となります。1ラウンド行っても、まだ同点の場合は勝者が決まるまで続けます。

→ 事業案内10月～

学びの広場 in Rec 申し込み受付中！ 午前午後のお好きな講座受講！

日程 平成28年10月29日(土)

受付 9:30 午前の部10:00～12:00 午後の部13:00～15:00

会場 神奈川県立スポーツ会館 ①2A会議室 ②B1・2会議室 ③体育館

対象者：レクリエーションを楽しみ、スキルアップしたい方

参加費：県レク会員・友の会会員・レクスクール受講生 1,000円

一般 1,500円 (幼児・小学生・中学生 無料)

定員：1講座 40名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

持ち物：上履き タオル 昼食 (動きやすい服装)

当日
プログラム

2A会議室

午前：ニューゲーム体験

講師：後藤剛彦氏

午後：作ってあそぼう

講師：斎藤照正氏

B1、B2会議室

午前：電信柱を探そう

サーチウォーク体験

講師：金江 宏氏

午後：お年寄りと一緒に歌いましょう

講師：ウーロン亭ちゃ太郎氏

体育館

午前：障害を持つ人も持たない
人も一緒にできるスポーツ

講師：野村一路氏

午後：自分の命は自分で守る
救急救命

講師：川内 潔氏



問い合わせ・申し込み

NPO法人 神奈川県レクリエーション協会 事務局 電話 **045-320-2430**

その他のイベント

▶ 出前イベント 大磯チャレンジフェスタ

日程 平成28年10月2日(日)9:30～15:00

会場 大磯運動公園

▶ ラダーゲッター講習会

日程 平成29年2月4日(土)13:00～

会場 県立スポーツ会館 体育館

▶ 指導者連絡会議・公認講師講習会

日程 平成29年2月26日(日)13:00～

会場 県立スポーツ会館A会議室

▶ CG普及審判講習会

日程 平成29年3月4日(土)10:00～

会場 県立スポーツ会館体育館

他、今年も
ランドマークタワー
登頂イベント予定
しています。

※詳細は
分り次第
HPにて
お知らせします。



ゲーム紹介

6Pチーズのケースであそぶ

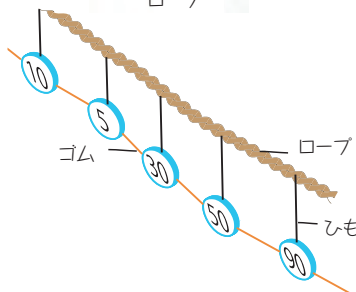
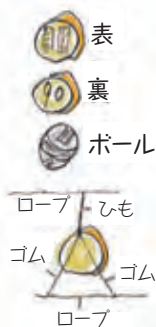
的入れ

- 6Pチーズの空箱をテープでとめて投げ、的に入れる得点の多い方が勝ち



的当て

- 6Pチーズの空箱をテープでとめて表側にマジックテープを貼つけ、裏側に点数を書いておく
- やわらかいボールにマジックテープ2本を巻き付ける



- 2チームで得点の多い方が勝ち
- 的は両側で2人の手で持つ
- 的が動かないように輪ゴムとロープを使う

● 各地域加盟団体の傘下として活躍されているレクリエーション指導者グループをシリーズにて紹介いたします！

さがみはらスポーツ・レクリエーションの会

市町村指導者グループ紹介

平成21年1月、レク指導者養成講習会修了生、レク現場で出会った仲間、楽しく笑顔になれるレク活動をとの思いで会が生まれました。年数が浅く未熟な会ですが、会員一同助け合い、信頼し合って創立当初の目標に向かって活動しています。

公民館からの依頼事業（高齢者学級・子どもの「遊び村レクリエーションランド」）や高齢者の方が初めて体験したニュースポーツに子どものように盛り上がり、喜び合ったり、声で笑ったり、喜び合ったりしている姿に、レクの力はすごいと感じます。

小学校のクラブ活動の指導、支援学級の児童が学校の授業にはないニュースポーツ、ダンス等の体験に積極的に挑戦し、成功したり得点が取れたりすると満面の笑顔になります。普通学級の児童達のチョットした手助け、フォローしたりする姿が微笑ましく映ります。

県立公園での「公園で遊ぶ」、児童館等子ども施設、高齢者施設でのレクゲーム、ソング、レクダンス、クラフト、健康体操そしてニュースポーツ等、様々な現場でレクを活用した沢山の事に挑戦しています。

連絡先

〒252-0244
相模原市中央区田名 1586
「さがみはらスポーツ・レクリエーションの会」
会長：篠崎 明弘
事務局：小澤 保明
携帯：090-9334-9128
Mail：hosi2622kiraray@gmail.com



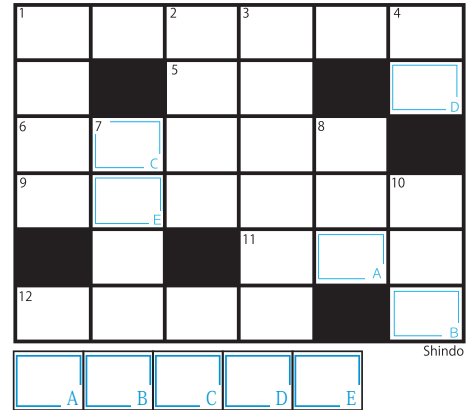
ノルディックウォーキング体験講習会

これからのレクを通して健康づくり・介護予防・子供たちの健全育成・子育て中の父母の皆さんのサポートができるように活動していきます。

頭
レク

クロスワードパズル

- ① 優・良・可・不可、1・2・3・4・5
② 芋煮、衣被さ
③ 昔は10月10日でした
④ 柔道で服装が乱れたら直し
ます
⑦ 長嶋 黒澤 宮崎 佐々木
柳本・・・
⑧ 子どもみたい・・・
⑩ 日本最大の淡水魚
⑪ 結び方
⑫ トウモロコシ (tomorrow)
⑬ タテのカギ
⑭ ライバルと競い合うことは大
切です
⑮ 問題
⑯ オリンピックで金メダル
⑰ 大井町や横浜市泉区では指定
の木、中井町では指定の花
⑱ トウモロコシ (tomorrow)



協会ホームページ
もご覧ください。



<http://kanagawa-rec.or.jp/>

FAX・045-320-0640 メール・jim@kanagawa-rec.or.jp

今後の紙面づくり
に向けて、掲載記事
へのご意見、ご感想
と今後の掲載記事へ
のご要望をお寄せ下
さい。

「スコレ」
掲載記事へ
のご意見・ご要望を
お寄せ下さい！

詳しくは「友の会」事務局にお問い合わせ
ください。
(特非) 神奈川県レクリエーション協会
045-320-12430



【胸章】
(缶バッジ)
入会者に交付

入会の特典

1. レクリエーションの情報紙「スコレ」を年間3回お届けし
ます。
2. 各種イベントに参加できます。
3. 「会員バッジ(胸章)」をお届けします。
4. レクリエーション用具等が10%割引価格で購入できます。
5. 会費年額3,000円
6. すてきなグッズをゲット！入会した方、更新した方にプレ
ゼント

「友の会」は、当協会が主催するイベント情報を定期的にお知らせ
し、イベントへの参加、レクリエーションに関する相談等、皆様の
レクリエーション活動の支援をすることを目的に創設しました。

「友の会」入会のご案内

編集後記

100号記念スコレをお届け
します。◆継続は力なりで
すが「スコレ1号」発行から、
年3〜4回の発行で28年経過
しました。◆先日歴代広報委
員長経験者の方々の座談会を
行いましたが、「スコレ」を
愛している気持ち、私達にも
伝わりました。◆現広報委員
として記念号に携われたこと
は幸いです。◆次号101号
から新たな気持ちで、県レク
と皆様の情報・交流の場とし
ての広報紙を委員一同目指し
ていく決意です。(M)

スポーツ安全保険®

スポーツ安全協会 検索 インターネットからも加入受付を行っています。詳しくは、ホームページをご覧ください。

スポーツ安全協会 神奈川県支部
((公財)神奈川県体育協会内)

〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町 3-1 県立スポーツ会館

TEL045-311-0653 (代表)

電話受付時間:午前9時〜12時、午後1時〜午後5時
(日、月曜日、祝日及び県立スポーツ会館の休館日は休みになります。)

保険の詳しい内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。

<http://www.sportsanzen.org>

●資料請求は、インターネットより受付けております。



携帯電話から
資料請求ができます。



誠くん

スポーツ活動
以外の団体も
加入できます。



千春ちゃん